

東北大学短期共同研究留学生受入プログラム (COLABS)

留学生受入指導教員 殿

東北大学自然科学系学生交流実施委員会委員長

教授 粕壁 善隆

東北大学短期共同研究留学生受入プログラム COLABS

「Individual Research Training in Lab (IRTLab)」の実施について (依頼)

東北大学短期共同研究留学生受入プログラム、COLABS の実施に関しまして、ご理解とご協力を賜り、誠に有難く存じております。

学部学生を対象とした短期留学生受入(JYPE)プログラムに加えて、2009 年より実施されている COLABS プログラムは全学術交流協定校を対象とした大学院生の短期研究留学生交流プログラムです。COLABS プログラムでは、研究室に所属しての実験・研修(IRTLab: Individual Research Training in Lab)を履修することを受入の基本としております。専門分野の講義とともに、日本に関する理解を深めてもらうため、日本語教育、日本の文化や社会についての講義、等(JYPE プログラムの科目)も併せて受講することができます。指導教員の先生方をお願いいたします、「IRTLab」は、専門分野の教育の場としてのみならず、教員および日本人学生との文化的・知的交流の場を提供するものとして、本プログラムの中核をなすコースで大きな特徴となっております。

そこで、以下に示す COLABS プログラムの概要をご参照いただき、本プログラムの実施・ご指導等にご理解とご協力をお願い申し上げます。

- (1) 本プログラムでは研究室に所属しての実験・研修(IRTLab)を履修することを受入の基本とします。
- (2) 本プログラムの修了要件としては IRTLab の単位を含めて、1 学期当たり 30ECTS Equivalent 以上を取得することとします。
- (3) IRTLab については、研修時間数(表 1 のように実験・研修の総時間数により 4 つのカテゴリーに分類されております)を満たし、研修内容(研修成果)が当該研究科がもつめるレベル(指導教員の認定でよいかと存じますが、最終的には各研究科の判断です)に合格した場合に、IRTLab の時間数に合う ECTS Equivalent を認定していただきます。その ECTS Equivalent を成績証明書に明記し、研究報告書とともに母校にもって行っていただき、母校で受ける単位については母校のほうで認定をしていただきます。なお、表 1 の IRTLab 4 は、必修科目として履修する IRTLab だけで 30ECTS Equivalent を得ることができるため修了要件を満たすことになります。

表 1 各カテゴリーの IRTLab の履修時間とその ECTS Equivalent (1 学期あたり)

1. 研修の実働時間： 実際に実験や計算などを行っている時間
2. 研究室活動への参加時間： 研究室で行う研究発表会、セミナー、研究打ち合わせ、討論、自習等の時間

IRTLab Category		IRTLab 1	IRTLab 2	IRTLab 3	IRTLab 4
Individual Research Training in Lab (IRTLab)の履修時間数	1. 研究の実働時間	150	240	300	420
	2. 研究室活動への参加時間	150	210	250	330
全履修時間 (時間)		300	450	550	750
履修時間に対する ECTS Equivalent (25 時間 = 1ECTS)		12	18	22	30

IRTLab 4 以外のカテゴリーを履修した場合には選択科目として講義による単位取得が必要となります。IRTLab の各カテゴリーを履修した場合にプログラムの修了要件を満たすために必要な東北大学の単位数を表 2 に示します。COLABS プログラムは大学院の研究中心のプログラムですので、受け入れる学生と話し合った上で可能な限り IRTLab 4(または IRTLab 3)を履修させていただければと存じます。

表 2 COLABS プログラムで修了要件を満たすために必要な授業科目の単位数

履修する IRTLab Category	IRTLab 1	IRTLab 2	IRTLab 3	IRTLab 4
修了要件を満たすための必須授業科目単位数	9	6	4	0

- (4) 成績は AA, A, B, C, D : AA…90-100 点、A…80-89 点、B…70-79 点、C…60-69 点、D…Failure で頂ければと存じます。
- (5) IRTLab 4 を履修した場合 (IRTLab4 に相当する時間、1 セメスターあたり 750 時間、を研修することになります)、当該研究科が定めるレベルの研究成果 (研究報告書、概要、研究発表を含む) を上げたと認定していただければ、授業科目をとることなく、修了要件を満たすこととなります。プログラムの成績証明書に記載する単位としては IRTLab4 については 30ECTS Equivalent と表記します。
- (6) COLABS プログラムは大学院の研究指向の高いプログラムとしておりますので、可能な限り IRTLab4 (あるいは 3) でお願いしたいと存じます。IRTLab1 は、学部の JYPE の IRT (個別研修) に相当する研究時間数となっておりますので、授業科目をとることが IRTLab の質を確保するのに必要となる場合のカテゴリーと理解していただければと存じます。
- (7) IRTLab の 1-3 をとった場合には、修了要件を満たすために数単位分の授業科目を履修していただくことで、30ECTS Equivalent を認定します (表 2 参照)。授業科目は、理学研究科の IGPAS 科目、工学研究科等の英語での授業科目等から提供されます。専門科目の講義とともに、日本に関する理解を深めてもらうため、日本語教育、日本の文化についての講義、等 (JYPE の科目) も併せて履修することができます。授業提供部局が単位を認定し、シラバスとともにその成績を学生の母校に送ります。ただし、母校で受ける単位については母校側が認定します。
- (8) IRTLab1、2、3 の場合には、それぞれ 12、18、22ECTS 相当の単位となりますが、修了要件の 30ECTS 相当にするには 9-4 単位を授業科目としてとる必要があります (表 2 参照)。たとえば、日本語の授業を取るとすれば JYPE と同様に 4 単位となりますので、IRTLab3 は日本語の授業とあわせて

修了要件を満たします。カテゴリー1、2については4単位となる日本語とともに、その他3科目(5-6単位)、1科目(2単位)をそれぞれ履修すれば修了要件を満たします。

そこで、ご依頼した留学生について、以下のような点にご配慮を賜り、「IRTLab」の実施・ご指導等をお願いいたします。

- 各研究室の研究分野に合わせて、研修題目を決めご指導をお願い致します。研究室には留学生が使用する机等も用意していただければ幸いです。その際、日本人学生と留学生との研究室での交流がうまく行くようご配慮ください。
- 研究室等でのセミナー・演習・その他にも可能な限り参加させて下さい。日本語のみのセミナー等については、英語によるフォローアップを適宜行っていただければ幸いです。
- IRTLabは履修するカテゴリーにより1セメスターの単位数が異なります。上記の(1)から(8)を考慮していただき、受入学生と話し合いの上、カテゴリーを決めて履修届けを提出していただき、ご指導下さい。研修についての定期的な議論とアドバイスをお願いいたします。
- 受入期間終了前に「IRTLab 発表会」を予定しております。研究成果をまとめて15分間程度で発表できるようご指導下さい。なお、発表会に先立って発表サマリーを提出できるようご配慮下さい。

秋学期 … 例年2月初旬

春学期 … 例年8月初旬

- 発表サマリーは、異なる専門分野に属する参加学生の理解の助けとなるよう、研修内容(背景・重要性・社会への波及効果)を簡潔にまとめた発表のアウトラインです。参加学生には電子ファイルにて事前配付を予定しておりますので、知的財産保護に触れる情報掲載は控えるようご指導ください。
- 受入期間終了後に、各研究科が成果を認めた研究報告書(目安として30-40ページ/A4サイズ)および研究報告書概要(1ページ/A4サイズ)を提出できるようご指導下さい。成績報告はセメスターごとに点数で提出して下さい。
- 研修活動が円滑に進みますように、留学生をサポートするチューターの選任をお願い致します。

以上、短期共同研究留学生受入プログラム、COLABSは、教育システムおよび単位システムが異なる海外の大学との単位を交換する、研究指向の高い、大学院学生の交流プログラムとなっております。東北大学で得たIRTLabの研修(研究)成果と授業科目の成績をもとにして母校で単位を認定して頂くことを基本といたしております。これらのことをご賢察いただき、学生の受入およびご指導にご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。